

<対策のポイント>

米粉の需要拡大や飼料用米を活用した畜産物等のブランド化、需要のある品種の種子安定供給等の取組を支援します。

<政策目標>

- 米粉用米等の生産を拡大（米粉用米10万トン [令和7年度まで]）
- 飼料用米を活用した畜産物等のブランドの確立による販売単価の向上（5年間で10%） 等

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. インバウンドにも対応した日本産米粉の需要拡大への支援

訪日外国人の急増等に伴い、グルテンを含まない特性を持つ米粉に注目が集まる状況を捉え、ノングルテン米粉認証制度等により海外に比べ高品質な日本産米粉や米粉加工食品の需要拡大に向けた取組を支援。

2. 米活用畜産物等ブランド化の推進

飼料用米を活用した豚肉、鶏卵等の畜産物や加工品をブランド化し、その付加価値向上や需要拡大を図るための産地段階での取組を支援。また、全国的な認知度向上や販路開拓等のための全国段階での取組を支援。

- ① 米活用畜産物等ブランド展開事業
- ② 米活用畜産物等全国展開事業

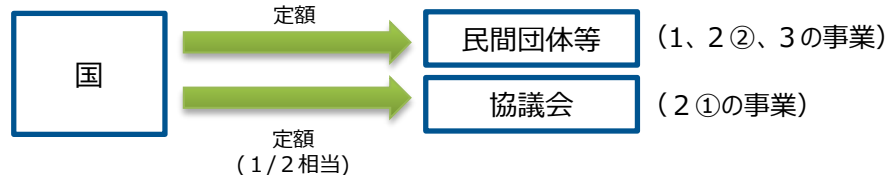
3. 需要のある品種の種子安定供給等への支援

実需者のイニシアティブのもと、輸出用米・加工用米等の需要に対応するための種子安定供給等の取組を支援。

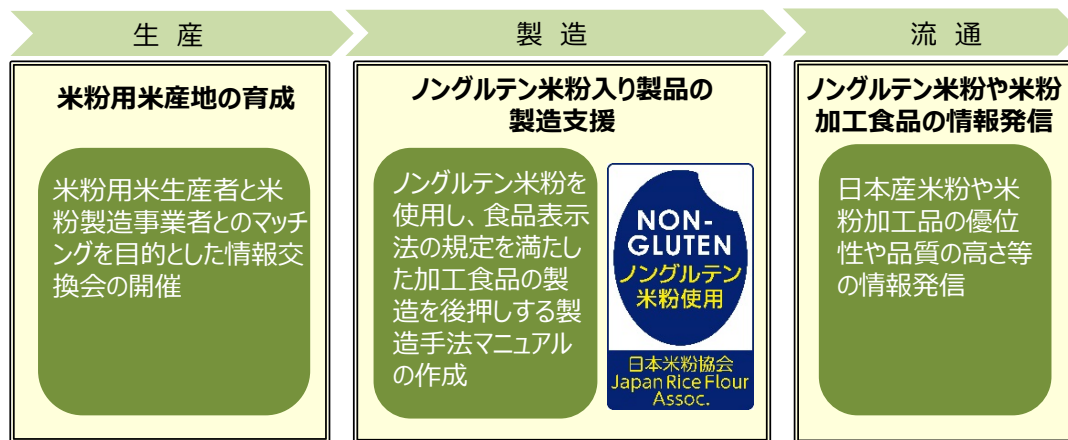
- ・ 広域連携による需要対応品種の種子供給体制の整備
- ・ 地域に応じた省力・多収栽培技術の確立・普及

等

<事業の流れ>



【インバウンドにも対応した日本産米粉の需要拡大支援事業】



【米活用畜産物等ブランド化推進事業】

